

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2007-44093(P2007-44093A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-228927(P2005-228927)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 5 2 F
A 6 3 F	7/02	3 2 8
A 6 3 F	7/02	3 5 2 L
A 6 3 F	7/02	3 5 2 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機に対応して設けられる遊技用装置と、

複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、 通番及び遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、 を備え、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段を有し、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたこと に基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、

前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたこと に基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、

前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出し、前記貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額として記録した前記記録媒体を排出する遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含み、該記録媒体に前記入金残額が記録されている場合には該入金残額をさらに含む記録媒体受付情報を前記管理装置にに対して送信する記録媒体受付情報送信手段を有し、

前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を加算予定額として、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体受付情報を受信した旨を示す記録媒体受付情報受信通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段を

有し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体受付情報受信通知の受信に応じて、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、該記録媒体の通番を更新する第1の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報を前記管理装置に対して送信する処理と行う入金残額不存在処理手段を有し、

前記管理装置は、

前記入金残額不存在処理情報を受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する加算予定額を加算する加算予定額加算処理と、該加算予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する加算済更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第2の通番更新処理とを行う加算予定額処理手段を有し、

さらに、

前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段と、

該通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理を行なうことなく、前記加算済更新処理を行う通番一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理と、前記加算済更新処理と、前記第2の通番更新処理とを行う通番不一致時処理を行う通番判定後処理手段と、を有することを特徴とする遊技用システム。

【請求項2】

遊技機に対応して設けられる遊技用装置と、

複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報に対応付けて、通番及び遊技媒体の貸与に使用される残額を管理する管理装置と、を備え、

前記遊技用装置は、

前記管理装置と通信できる通信可能状態であるか通信できない通信不可能状態であるかを検知する通信可否検知手段を有し、

該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、

前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貨幣を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理を行い、

前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出し、前記貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額として記録した前記記録媒体を排出する遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含み、該記録媒体に前記入金残額が記録されている場合には該入金残額をさらに含む記録媒体受付情報を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段を有し、

前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該入金残額を加算済入金残額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記記録媒体受付情報を受信した旨を示す記録媒体受付情報受信通知を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段を有し、

前記遊技用装置は、前記記録媒体受付情報受信通知の受信に応じて、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、該記録媒体の通番を更新する第1の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報を前記管理装置に対して送信する処理と行う入金残額不存在処理手段を有し、

前記管理装置は、

前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済入金残額に対応する入金残額について入金残額不存在処理済であることを特定可能な状態に更新する入金残額処理済更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第2の通番更新処理とを行う入金残額処理済更新処理手段を有し、

さらに、

前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段と、

該通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、前記入金残額処理済更新処理とを行う通番一致時処理を行い、

前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金残額処理済更新処理と、前記第2の通番更新処理とを行う通番不一致時処理を行う通番判定後処理手段と、を有することを特徴とする遊技用システム。

【請求項3】

請求項1又は2に記載した遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、前記記録媒体の通番が上限値に達しているときに、該記録媒体の通番を初期値に更新し、

前記管理装置は、前記管理している通番が上限値に達しているときに、該管理している通番を初期値に更新することを特徴とする遊技用システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

まず請求項1に係る発明は、遊技機（パチンコ機10）に対応して設けられる遊技用装置（玉貸ユニット20）と、複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体（会員カード4、ビジタコイン5）を個々に識別可能な記録媒体識別情報（記録媒体ID）に対応付けて、通番及び遊技媒体（パチンコ玉）の貸与に使用される残額を（残額管理DBで）管理する管理装置（50）と、を備え、前記遊技用装置は、前記管理装置と通信できる通信可能状態（オンライン状態）であるか通信できない通信不可能状態（オフライン状態）であるかを検知する通信可否検知手段を有し、該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貨幣の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理（一発貸し）を行い、前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出し、前記貨幣貸与処理による残額が有る場合には、該残額を入金残額として記録した前記記録媒体を排出する遊技用システム（1）であって、前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含み、該記録

媒体に前記入金残額が記録されている場合には該入金残額をさらに含む記録媒体受付情報（挿入通知）を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段（制御部21及び外部通信部21b）を有し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を加算予定額として、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、該記録媒体受付情報を受信した旨を示す記録媒体受付情報受信通知（加算予定額記憶通知）を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段（制御部52及び通信部51）を有し、前記遊技用装置は、前記記録媒体受付情報受信通知の受信に応じて、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、該記録媒体の通番を更新する第1の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報（オフライン端数額消去通知）を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段（制御部21及び外部通信部21b）を有し、前記管理装置は、前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して該記録媒体識別情報に対応する加算予定額を加算する加算予定額加算処理と、該加算予定額を加算済であることを特定可能な状態に更新する加算済更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第2の通番更新処理とを行う加算予定額処理手段（制御部52）を有し、さらに、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段（制御部52）と、該通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理を行なうことなく、前記加算済更新処理を行う通番一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、前記加算予定額加算処理と、前記加算済更新処理と、前記第2の通番更新処理とを行う通番不一致時処理を行う通番判定後処理手段（制御部52）と、を有することを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また請求項2に係る発明は、遊技機（パチンコ機10）に対応して設けられる遊技用装置（玉貸ユニット20）と、複数の前記遊技用装置と通信可能であり、該遊技用装置で行われる各種処理に伴い該遊技用装置により更新される通番が少なくとも記録される記録媒体（会員カード4、ビジタコイン5）を個々に識別可能な記録媒体識別情報（記録媒体ID）に対応付けて、通番及び遊技媒体（パチンコ玉）の貸与に使用される残額を（残額管理DBで）管理する管理装置（50）と、を備え、前記遊技用装置は、前記管理装置と通信できる通信可能状態（オンライン状態）であるか通信できない通信不可能状態（オフライン状態）であるかを検知する通信可否検知手段を有し、該通信可否検知手段により通信可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、前記記録媒体識別情報に対応付けて前記管理装置で管理されている残額である管理残額の範囲内で遊技媒体を貸与するための記録媒体貸与処理を行い、前記通信可否検知手段により通信不可能状態を検知しているときに貸与操作を受け付けたことに基づいて、該受け付けた貸与操作の金額である受付貨幣額の範囲内で遊技媒体を貸与するための貨幣貸与処理（一発貸し）を行い、前記通信可否手段による検知に関わらず前記記録媒体を排出し、前記貨幣貸与処理による残額

が有る場合には、該残額を入金残額として記録した前記記録媒体を排出する遊技用システム（1）であつて、前記遊技用装置は、前記記録媒体を受け付けたことに基づいて、該受け付けた記録媒体に記録されている記録媒体識別情報と通番とを少なくとも含み、該記録媒体に前記入金残額が記録されている場合には該入金残額をさらに含む記録媒体受付情報（挿入通知）を前記管理装置に対して送信する記録媒体受付情報送信手段（制御部21及び外部通信部21b）を有し、前記管理装置は、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に入金残額が含まれることを条件として、該入金残額を、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する管理残額に対して加算する処理と、該入金残額を加算済入金残額として、該記録媒体識別情報に対応付けて記憶する処理と、前記記録媒体受付情報を受信した旨を示す記録媒体受付情報受信通知（加算額記憶通知）を前記遊技用装置に対して送信する処理とを行う入金残額処理手段（制御部52及び通信部51）を有し、前記遊技用装置は、前記記録媒体受付情報受信通知の受信に応じて、前記記録媒体に記録されている入金残額を零に更新するかあるいは消去する入金残額不存在処理と、該記録媒体の通番を更新する第1の通番更新処理と、該入金残額不存在処理を行った旨を示す入金残額不存在処理情報（オフライン端数額消去通知）を前記管理装置に対して送信する処理とを行う入金残額不存在処理手段（制御部21及び外部通信部21b）を有し、前記管理装置は、前記入金残額不存在処理情報の受信に応じて、前記記録媒体識別情報に対応付けて記憶している加算済入金残額に対応する入金残額について入金残額不存在処理済であることを特定可能な状態に更新する入金残額処理済更新処理と、該記録媒体識別情報に対応する通番を更新する第2の通番更新処理とを行う入金残額処理済更新処理手段（制御部52）を有し、さらに、前記記録媒体受付情報の受信に応じて、該記録媒体受付情報に含まれる通番が、前記記録媒体の記録媒体識別情報に対応する通番と一致するか否かを判定する通番判定手段（制御部52）と、該通番判定手段により通番が一致すると判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、前記入金残額処理済更新処理とを行う通番一致時処理を行い、前記通番判定手段により通番が一致しないと判定され、かつ前記加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、前記入金残額処理済更新処理と、前記第2の通番更新処理とを行う通番不一致時処理を行う通番判定後処理手段（制御部52）と、を有することを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

さらに請求項3に係る発明は、請求項1又は2に記載した遊技用システム（1）であつて、前記遊技用装置（玉貸ユニット20）は、前記記録媒体（会員カード4、ビジタコイン5）の通番が上限値に達しているときに、該記録媒体の通番を初期値に更新し、前記管理装置（50）は、前記管理している通番が上限値に達しているときに、該管理している

通番を初期値に更新することを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

さらに管理装置は、通番が一致すると判定され、かつ加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、加算予定額加算処理を行うことなく、加算済更新処理を行うので、管理装置が記録媒体受付情報を受信してから遊技用装置が記録媒体受付情報受信通知を受信する前に通信不可能状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、通番が一致しないと判定され、かつ加算予定額について加算済更新処理が行われていないことを条件として、加算予定額加算処理と、加算済更新処理と、第2の通番更新処理とを行うので、遊技用装置が記録媒体受付情報受信通知を受信してから管理装置が入金残額不存在処理情報を受信する前に通信不可能状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また請求項2に係る遊技用システムによれば、遊技用装置が管理装置と通信不可能状態のときに貨幣を受け付け、受付貨幣額の範囲内で貸与処理を行うようにした場合にも、残額を入金残額として記録媒体に記録して排出し、通信可能状態の遊技用装置が該記録媒体を受け付けたときに、管理装置において該記録媒体の入金残額が管理残額に加算されるので、遊技用装置に釣銭払出機能等を設ける必要がなく、遊技用装置のコストが上昇することができない。また、入金残額を精算することなく遊技に使用することができるので、遊技者の利便性が向上する。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに管理装置は、通番が一致すると判定され、かつ加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていないことを条件として、管理残額から該加算済入金残額を減算する加算済入金残額減算処理と、入金残額処理済更新処理とを行うので、管理装置が記録媒体受付情報を受信してから遊技用装置が記録媒体受付情報受信通知を受信する前に通信不可能状態となった場合にも、正確な残額を確定することができる。一方、通番が一致

しないと判定され、かつ加算済入金残額について入金残額処理済更新処理が行われていな
いことを条件として、入金残額処理済更新処理と、第2の通番更新処理とを行うので、遊
技用装置が記録媒体受付情報受信通知を受信してから管理装置が入金残額不存在処理情報
を受信する前に通信不可能状態となつた場合にも、正確な残額を確定することができる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

さらに請求項3に係る遊技用システムによれば、遊技用装置は記録媒体の通番が上限値に達しているときに初期値に更新し、管理装置は管理している通番が上限値に達しているときに初期値に更新するので、通番を記憶する領域を極力少なくすると共に、通番が上限値に達した後でも継続して記録媒体を使用することができ、記録媒体のコストを低減させることができる。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】